

実践報告

第8回学校法人兵庫医科大学リハビリテーション関連施設 合同セミナー実践報告

荻野智之¹⁾、曾田幸一朗²⁾、打田明²⁾、三島淳一²⁾、平上尚吾³⁾、塚越累³⁾、
藤岡宏幸³⁾、川口浩太郎³⁾、山崎せつ子³⁾、片山覚⁴⁾、道免和久⁵⁾

1) 兵庫医科大学ささやま医療センターリハビリテーション室、2) 兵庫医科大学病院リハビリテーション部、
3) 兵庫医療大学リハビリテーション学部、4) 兵庫医科大学ささやま医療センター、5) 兵庫医科大学リハビリテーション医学教室

The Practice Report: The Eighth Annual Seminar of Rehabilitation Medicine in Hyogo College of
Medicine Educational Foundation

Tomoyuki OGINO¹⁾, Koichiro SOTA²⁾, Akira UCHIDA²⁾, Jyunichi MISHIMA²⁾,
Shogo HIRAGAMI³⁾, Rui TSUKAGOSHI³⁾, Hiroyuki FUJIOKA³⁾, Kotaro KAWAGUCHI³⁾,
Setsuko YAMASAKI³⁾, Satoru KATAYAMA⁴⁾, Kazuhisa DOMEN⁵⁾

- 1) Department of Rehabilitation, Hyogo College of Medicine Sasayama Medical Center
- 2) Department of Rehabilitation, Hyogo College of Medicine Hospital
- 3) School of Rehabilitation, Hyogo University of Health Sciences
- 4) Hyogo College of Medicine Sasayama Medical Center
- 5) Department of Rehabilitation Medicine, Hyogo College of Medicine

抄 録

「第8回学校法人兵庫医科大学リハビリテーション関連施設合同セミナー（以下、合同セミナー）」が2017年8月26日、兵庫医療大学オクタホールにて開催された。合同セミナーは、学校法人兵庫医科大学リハビリテーション関連施設の情報共有と相互研鑽を図ることを目的として、2010年から毎年開催されている。今回の合同セミナーには、学校法人兵庫医科大学でリハビリテーション医療に関わる医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などを中心に、兵庫医療大学学生も含め、法人内外から201名の医療専門職者が参加した。和歌山県立医科大学リハビリテーション医学講座田島文博教授による障がい者スポーツの医科学研究に関する特別講演「障がい者スポーツからパラスポーツへ」が行われた。また、学校法人兵庫医科大学内の各施設で実施している研究や取り組み、症例報告などの一般講演が行われ、リハビリテーション医療について活発な意見交換がなされた。合同セミナーを通じて、学校法人兵庫医科大学リハビリテーション関連施設の連携の成果は表れており、診療、研究、教育に関わる我々教職員は、今後も一層協働していく必要性を再認識した。

キーワード：学校法人兵庫医科大学、リハビリテーション、セミナー、実践報告

Key words：Hyogo College of Medicine Educational Foundation, Rehabilitation, Seminar, Practice Report

I はじめに

「学校法人兵庫医科大学リハビリテーション関連施設合同セミナー」(以下、合同セミナー)は、兵庫医療大学リハビリテーション学部一期生が卒業を迎えた2010年に初めて開催され、今回で8回を迎えた。合同セミナーは、兵庫医科大学病院リハビリテーション部、兵庫医科大学ささやま医療センターリハビリテーション室、そして理学療法士・作業療法士を養成する兵庫医療大学リハビリテーション学部が共同して、診療、研究、教育の三本柱をより強固にし、質の高いリハビリテーション医療を推進することを目的として開催されている。第8回の合同セミナーには例年通り、学校法人兵庫医科大学内にとどまらず、学校法人兵庫医科大学連携病院や兵庫医療大学リハビリテーション学部の実習施設などから200名を超える参加があり、活発な意見交換がなされた。

本報告では、第8回合同セミナーの開催内容と今後の展望などについて述べる。

II 第8回合同セミナー

第8回合同セミナーは2017年8月26日(土曜日)に兵庫医療大学オクタホールで行われた。プログラムを資料1、合同セミナーの様子を図1、図2に示す。

プログラム	
平成28年8月26日(土) 14:00~17:40	
会場: 兵庫医療大学オクタホール	
司会: 日高 正巳(兵庫医科大学リハビリテーション学部)	
1. 開会の挨拶 14:00~14:05	兵庫医科大学リハビリテーション医学教室 主任教授 道免 和久
2. 法人代表挨拶 14:05~14:10	学校法人兵庫医科大学 理事長 新家 莊平
3. 特別講演 14:10~15:10	座長: 兵庫医療大学リハビリテーション学部 川口 浩太郎 テーマ: 「障がい者スポーツからパラスポーツへ」 講師: 和歌山県立医科大学リハビリテーション医学講座教授 田島 文博 先生
(休憩 15:10~15:20)	
4. 一般講演1 15:20~16:20	座長: 兵庫医科大学病院リハビリテーション部 瀬戸川 啓
演題1	兵庫医科大学病院リハビリテーション部 梅地 篤史 「脳梗塞後児童に対するmCI療法の経験-2度の集中訓練の経過-」
演題2	兵庫医科大学リハビリテーション学部 森 明子 「骨盤底筋トレーニング習慣化プログラムの開発に向けた取り組み」
演題3	ささやま医療センターリハビリテーション室 日下 真由美 「当院における回復期リハビリテーション病棟の取り組みと課題 ~カンファレンスシートを活用して~」
(休憩 16:20~16:30)	
5. 一般講演2: 16:30~17:30	座長: ささやま医療センターリハビリテーション室 岡田 誠
演題1	兵庫医科大学病院リハビリテーション部 金森 雅 「当院でのConstraint-Induced Aphasia Therapyの実践 -慢性期ブローカ失語症例患者の一例-」
演題2	兵庫医科大学リハビリテーション学部 有吉 正則 「健康高齢者に対する予防的・健康増進作業療法プログラムの効果 -神戸ポートアイランド地区における実践の試み-」
演題3	ささやま医療センターリハビリテーション室 田淵 高人 「兵庫県丹波篠山園地におけるケアマネージャーの 心不全に対する疾患理解度とケアプラン状況の実態調査」
6. 閉会の挨拶 17:30~17:40	兵庫医科大学リハビリテーション学部 学部長 山崎 せつ子

資料1. プログラム

特別講演

和歌山県立医科大学リハビリテーション医学講座の田島文博教授をお招きして「障がい者スポーツからパラスポーツへ」と題した特別講演を開催した。講演では、障がい者の病態運動生理学から運動による効果、さらには競技の高度化に伴うメディカルチェックの必要性や課題について示して頂いた。講演後の質疑応答では、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催にむけて、療法士に期待されていることや課題についてご教示頂いた。

一般講演

一般講演は兵庫医科大学病院リハビリテーション部、ささやま医療センターリハビリテーション室および兵庫医療大学リハビリテーション学部からそれぞれ2演題ずつの発表が行われた。

兵庫医科大学病院リハビリテーション部からは、脳梗塞後児童に対するmodified Constraint-Induced movement therapyの経験や慢性期ブローカ失語症に対するConstraint-Induced Aphasia Therapyの実践について紹介された。

ささやま医療センターリハビリテーション室からは、回復期リハビリテーション病棟の取り組みと課題についての報告、および兵庫県丹波篠山園地における



図1. 特別講演



図2. 合同セミナー風景

ケアマネージャーの心不全に対する疾患理解度とケアプラン状況の実態調査に関する研究が紹介された。

兵庫医療大学リハビリテーション学部からは、骨盤底筋トレーニング習慣化プログラムの開発に向けた取り組みや健康高齢者に対する予防的・健康増進作業療法プログラムの効果に関する研究が紹介された。

いずれの講演においても、活発な質疑応答がなされていた。また、講演以外の時間にも、参加者各々が日頃の臨床実践や臨床研究、あるいは教育等についての情報交換を行っており、有意義な議論が交わされていた。

Ⅲ 参加状況

参加者は201名であった。参加者の内訳は、学校法人兵庫医科大学三施設教職員、学校法人兵庫医科大学連携病院の会リハビリテーションスタッフ、兵庫医療大学リハビリテーション学部実習施設および卒業生の勤務する施設、兵庫医療大学の学生などであった。さらに、学校法人兵庫医科大学新家荘平理事長および太城力良副理事長、ささやま医療センター片山覚病院長、兵庫医療大学馬場明道学長など法人内の理事や役職者の方々にもご参加頂いた。

Ⅳ 今後の展望

今回で8回目を迎えた合同セミナーでは、例年通り、学校法人兵庫医科大学内の教職員・学生に加え、関連施設や周辺施設から多数の参加者があり、講演内外で活発で発展的な議論が交わされていた。

今回、特別講演における和歌山県立医科大学リハビリテーション医学講座の田島文博教授による障がい者の病態運動生理学や障がい者スポーツの医学研究に関する講演は本法人の診療および研究にとって大いに参考になるものであった。また、一般講演では、各施設で実施している研究報告に加え、ささやま医療センターの開設2年目となる回復期リハビリテーション病棟の運営状況や実際の取り組みと課題についての報告も含まれており、法人内の理事や役職者、さらには就職活動を控えている学生においても学校法人兵庫医科大学三施設をアピールできる場となった。このように、今回の合同セミナーでは先進的・実践的な研究成果とともに、兵庫医科大学病院リハビリテーション部、ささやま医療センターリハビリテーション室および兵庫医療大学リハビリテーション学部における連携の成果

が着実に表れており、学校法人兵庫医科大学内リハビリテーション関連施設のさらなる発展のきっかけになる会となったと考える。

今後も引き続き、学校法人兵庫医科大学内リハビリテーション関連施設の教職員は協働し、臨床を基盤とし共同研究を含めた臨床研究を通じて、3施設の「診療・研究」の関係性をより深めるとともに、臨床実習をはじめとする「教育」においても具体的な発展に繋げていくことが重要であると考えられる。

謝辞

このたび、第8回合同セミナー実践報告をまとめるに当たり、ご協力を頂いた兵庫医科大学リハビリテーション医学教室、兵庫医科大学病院リハビリテーション部、兵庫医科大学ささやま医療センターリハビリテーション室および兵庫医療大学リハビリテーション学部のスタッフの皆様には深謝いたします。